

いただきます



物と心



ごちそうさま

京都のホテルで

この夏、2泊3日の泊まりがけで、京都の勉強会に参加しました。私は朝はあまり食べない方なのですが、朝食券を使わないのも損したような気になるので（笑）、コーヒーだけでもと思い、食堂でコーヒーをすすっていました。

他にすることもなく、周囲を見てみると、小さなお子さん連れのご家族らしき一団や、若い女性ばかりの団体など、色んな人が入れ替わり立ち替わりに入ってきます。私は、その人たちを見てもなく見ながら、ああこれは夏休みの家族旅行かな、とか、ああこれはOLの夏休みかな、とか思っていました。

朝食はバイキング形式で、思い思いに食べたい物をとって頂くことができます。ここぞとばかり山盛りとってくる人、ダイエットを気にしているのか野菜ばかりの人、いろいろです。美味しそうな香りが漂い、楽しそうな雰囲気の中、普段は味わえないようなゆったりとした時間が流れていました。

さて、ある上品そうな身なりの女性、上品な仕草で運んできたトレイ（お盆）を机に置きました。見ると、お皿の上の盛りつけもお上品です。ところがその女性、椅子に座ると、おもむろにパクッと食べ始めました。

うーん、そうか…。まあ、そんな人もいるだろう、合掌して食べる人だっているだろうとあたりを見回してみましたが、残念なこと合掌している姿を見つけられません。

もったいない



うーん、そうか…。しかし合掌はせずとも、せめて「いただきます」ぐらいは言う人はいるだろうと、口元をじっと見てみましたが、残念ながらそれさえも言う人はいませんでした。

2日間にわたって観察してみましたが（笑）、結局、合掌したり、いただきますと言って食べる人は誰一人としていませんでした。これは、今の若い者はとか、あの家はちゃんとしていないからとかいうレベルではなくて、日本全体が、老若男女を問わずそうってしまったと言っても過言ではないでしょう。

戦後、着る物も食べる物も豊かになった日本ですが、このままいくと、日本人の文化から「合掌」は消え、「いただきます・ごちそうさま」が死語となる日はそう遠くない気がします。皆さんは、悲しくないですか？

GNPとGNH

先日国王が来日したブータンという国は仏教国で、GNHを尺度に政治を行っているそうです。GNHとは国民総幸福量。国民全体での幸福の総量を尺度にしているということです。日本はご存知GNPとかGDP。1年でどれだけ物を作ったかが尺度。「かのヒマラヤの雪を全て黄金に変えて、それを2倍にして与えたところで、決して一人の人間さえも幸せにすることはできないだろう」とはお釈迦さまの言葉。日本人のGNHはどのくらいになるのでしょうか。

ありがとう・ごめんなさい

〔食後のことば〕

合
掌

〔食前のことば〕

尊いおめぐみをおいしくいただき、
 ますますご恩報謝につとめます。
 おかげで、ごちそうさまでした。

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、
 このごちそうをめぐまれました。
 深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、
 このごちそうをめぐまれました。
 深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

※食中毒防止のため、早めにお召し上がり下さい。

西教寺進徳仏教婦人会
私たちといっしょにお聴聞しましょう